

報道関係者各位

日本酒応援団

◆「日本酒応援団」について

日本酒応援団は、日本酒愛好家の有志の集まり。2014年11月に、より多くの人に日本酒の素晴らしさを伝え、現在の縮小傾向にある日本酒市場を転換させることを目標に設立されました。もっと日本酒を知ってもらい、もっと日本酒を好きになってもらいたい、そのためには実際に作られている現場を知ることが一番良いはずだ、という思いで、「触れる、知る、伝える」ことで日本酒を応援する本プロジェクトのほかにも、「無濾過生原酒の会」を定期的に開催し、全国の厳選した無濾過生原酒を飲む食事会を開催しています。

-販売サイト: <https://welovesake.stores.jp>

-公式サイト: <http://welovesake.com>

-2015年冬の酒造り体験レポート: <http://blog.welovesake.com>

-2015年3月10日新酒発表会記事: <http://bit.ly/1GuaLOr> (タイムアウト東京・記事)

-公式 Facebook ページ: <https://www.facebook.com/SakeSupporters>

◆販売元竹下本店について

神話のふるさと、島根県にある小さいながら、長い間地元で愛され続ける造り酒屋です。年間製造量は300石、つまり、一升瓶換算で、30,000本と大変小さな蔵元ですが、島根の綺麗な水、空気、腕利きの出雲杜氏そして温かな人々に支えられ、まっすぐなお酒を丁寧に醸しています。竹下本店の酒造りの歴史は古く、その成り立ちは今から約150年前にも遡ります。元々庄屋であった竹下家は、江戸後期慶応2年(1866年)、今で言う醸造免許である「酒座」を譲り受け、以来ふるさとの人々が日々の暮らしや行事の楽しみとして嗜む日本酒造りを家業としています。

◆酒造り体験

2015年1月15日の洗米から始まり～2月15日のラベル張りまでの1ヵ月間、蔵元竹下本店の実際のタンク、酒づくりの道具をお借りし実施しました。竹下本店で40年以上蔵人をやられ今は引退された地元の方に指導を仰ぎながら、延べ120名にも及ぶ日本酒を応援したいという有志が酒造りを実際に体験しました。(男女比3:2、年齢20代～40代、7割東京在住者。アメリカ国籍3名。)1泊から連続10泊まで様々な関わり方で日本酒醸造を体験、後日アンケートでは100%の方が、「もっと日本酒を好きになった」「また参加したい」と回答するほど好評でした。

◆発起人プロフィール

平井 誠人:

オフショア開発会社のフランジアホールディングス 代表取締役社長。上智大学大学院修了後、三菱商事株式会社に入社。株式会社インテリジェンス等を経て独立。日本酒セラーには常時数十本の日本酒をストックするほどの日本酒好きで、8年前から田舎時間を通して農業や漁業を続けており、農家や漁師の家で開発合宿を開催した経験もあり。個人で神輿を所有するほどのお祭り好き。

古原 忠直:

iPhone アプリ「Poin」開発の M&C (株) 代表取締役社長、ベンチャーキャピタル ImproVista 共同代表パートナー。東京大学経済学部卒、スタンフォード大学経営大学院 (MBA) 卒。三菱商事、東京海上キャピタル等で日本、米国、中国で11年間のベンチャー投資・事業開発を経験し、起業。祖母の実家が大大で造り酒屋を営んでいた (現在は廃蔵) ことや、海外経験が豊富なゆえに気付く日本の良さを世界に広めたいという思いが強く、日本酒応援団を立ち上げ。日本酒のラベル集めと日本酒が豊富な店を食べ歩くことが趣味。